

本

書は、OBD 検査を行う指定工場の検査員、及び OBD 確認を行う指定工場の検査員・工員もしくは認証工場の工員を対象に、OBD 検査・確認を行う際に使用する『特定 DTC 照会アプリ』及び『OBD 検査結果参照システム』の操作方法をまとめたマニュアルです。

本書の対象	概要	収録内容
検査員	▪ 指定工場において OBD 『検査』を行う者	OBD 検査・確認をする際に必要となる『特定 DTC 照会アプリ』及び『OBD 検査結果参照システム』の操作方法
工員	▪ 指定工場において OBD 『確認』を行う者 ▪ 認証工場において OBD 『確認* ¹ 』を行う者	

OBD 検査は、国の定める自動車検査の検査項目として、2024 年 10 月以降に新たに追加されます。従って認証工場は任意ですが、指定工場は、『令和 6 年 9 月 30 日まで*²』に OBD 検査を行える体制にしておく必要があります。なお、OBD 検査の対象となる車両は、次のとおりです。

OBD 検査の対象車
国産車は令和 3（2021）年 10 月 1 日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）
輸入車は令和 4（2022）年 10 月 1 日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）

なお、『特定 DTC 照会アプリ』や『OBD 検査結果参照システム』のバージョンアップ等により、本書の内容と適合しなくなるおそれがあります。ご了承ください。

令和 6 年 5 月
公論出版 編集部



認証工場による OBD 確認*¹

① OBD 確認について、認証工場は任意であるが、OBD 確認を事前に行っておくことで、持込検査時の OBD 検査を省略することができる。

令和 6 年 9 月 30 日まで*²

① 指定規則が改正され、令和 6 年 10 月 1 日施行により、指定工場は『検査用スキャンツール』を備えなければならないことになる。

② 従って、令和 6 年 9 月 30 日までに少なくとも『検査用スキャンツールに関する変更届出（指定工場のみ）』を終えていることが求められる。

※ 指定工場として備えなければならない検査機器を備えていない場合は、指定工場の要件を満たしていないことになる。

③ しかし、指定規則の附則において、『経過措置』が次のように定められている。

令和 6 年 10 月 1 日において、すでに指定工場となっている場合、もしくは指定の申請をしている場合、『検査用スキャンツールを備えなければならない』という規定について、令和 6 年 10 月 1 日以降、事業場の位置を変更するまでの間は適用されない。

④ これにより、事業場の位置を変更しなければ必ずしも令和 6 年 9 月 30 日までに検査用スキャンツールを備え付けていなくてもよいことになる。

《目次》

はじめに

1	OBD 検査とは？	4
2	OBD 検査で利用するシステム及びアプリとシステムの構築例	4
3	OBD 検査の要否確認	5
4	OBD 検査を行うために必要なもの	5
5	OBD 検査の流れ	9
6	本書で使用している用語について	9

『特定 DTC 照会アプリ』 関連

1 『特定 DTC 照会アプリ』とは？

1	特定 DTC 照会アプリの機能	11
2	特定 DTC 照会アプリで OBD 検査を行うための条件	12
3	検査用スキャンツールについて	12
4	特定 DTC 照会アプリの動作環境（パソコンやタブレットのスペック）	15
5	二次元コードリーダー・IC タグリーダー（任意機器）	16
6	OBD 検査と OBD 確認	17

2 検査用スキャンツールの端末へ各種インストール

1	『Soliton KeyManager』のインストール	19
2	『クライアント証明書』のインストール	27
3	『特定 DTC 照会アプリ』のインストールと初回ログイン・パスワードの設定	34

3 ログイン（2回目以降）とログアウト

1	ログイン（2回目以降）	37
2	ログアウト（終了する）	39

4 画面の見方と基本操作方法

1	メニュー画面の表示	40
2	前の画面に戻る	40
3	ガイド機能	41
4	設定の確認と変更（検査用スキャンツールや IC タグリーダー等）	41

5 OBD 検査・確認

1	車両受付（車検証情報の入力）	44
	★二次元コードリーダーの読み取りモードについて	54
	★読取モード2で車検証二次元コードの情報が文字化けする	56
	★エラー『二次元コードリーダーとの接続に失敗しました』が表示した	59
	★エラー『車検証二次元コードを正常に読み取ることができませんでした』が表示した	60
	★エラー『IC カードリーダーとの接続に失敗しました』が表示した	60
	★車台番号に漢字が記載されているとき（職権打刻）	61
2	OBD 検査要否の確認	64
	★ OBD 検査要否の確認後にできること①データリンクコネクタ位置の表示	68
	★ OBD 検査要否の確認後にできること②過去の OBD 検査実施履歴の確認	68
	★ OBD 検査要否の確認後にできること③諸元表の確認	69

★ OBD 検査要否の確認後にできること④リコール情報の確認	70
3 OBD 検査・確認の実施	70
★ 誤って OBD 確認で検査をしてしまった	75
4 OBD 検査・確認結果の詳細	75
5 OBD 検査・確認結果の保存・出力	77
6 使用した検査用スキャンツールの情報の確認	80

はじめに

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

トラブル

6 関連情報の確認とアップデート

1 よくある質問の確認	81
2 特定 DTC 照会アプリのアップデート	83

『OBD 検査結果参照システム』 関連

1 『OBD 検査結果参照システム』 とは？

1 OBD 検査結果参照システムの機能	86
2 利用する前の確認事項	87

2 初回ログインとパスワードの設定 (特定 DTC 照会アプリで初回ログインを行っている場合は不要)

1 ログイン (初回) とパスワードの設定	88
-----------------------	----

3 ログイン (2回目以降) とログアウト

1 ログイン (2回目以降)	92
2 ログアウト (終了する)	95

4 画面の表示と操作方法

1 メニュー画面の表示	96
2 前の画面に戻る	97
3 ガイド機能	97

5 機能 1 : OBD 検査要否・DLC 位置の確認

1 必要事項の入力	98
2 OBD 検査の要否確認	100
3 DLC 位置情報の確認	100

6 機能 2 : OBD 検査結果の確認

1 必要事項の入力	102
2 OBD 検査結果・詳細の確認	106
3 検査結果の CSV ファイル出力	108
4 検査結果の PDF 出力	110

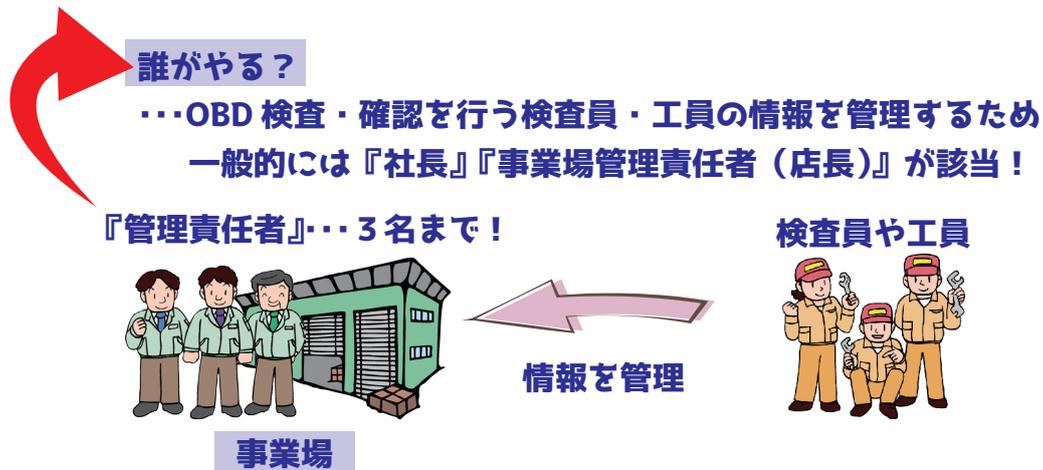
トラブルシューティング

1 ユーザー ID・パスワードを忘れた	113
2 パスワードを変更したい	113
3 クライアント証明書の更新	115
4 問い合わせ先	119

- ② OBD 『確認』 … 認証工場の工員が、点検整備終了後の出来栄確認時に実施する。または、指定工場の検査員・工員が受け入れ点検時に行く。なお、認証工場が OBD 確認を行い、合格判定が出れば持ち込検査時に機構による OBD 検査は省略される。

管理責任者*2 ?

- ① 事業場における OBD 検査用のアプリ（特定 DTC 照会アプリ）の利用者（検査員・工員）の情報を管理する責任者。
 ② 1つの事業場に対して、3名まで登録することができる。
 ③ 誰がやるのか？ … OBD 検査・確認を行う検査員・工員の情報管理するため、一般的には『社長』『事業場管理責任者（店長）』が適任となる。



統括管理責任者*3 ?

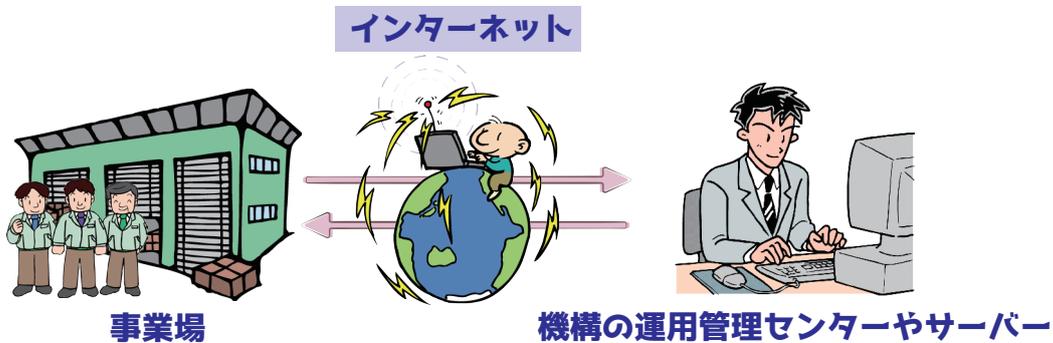
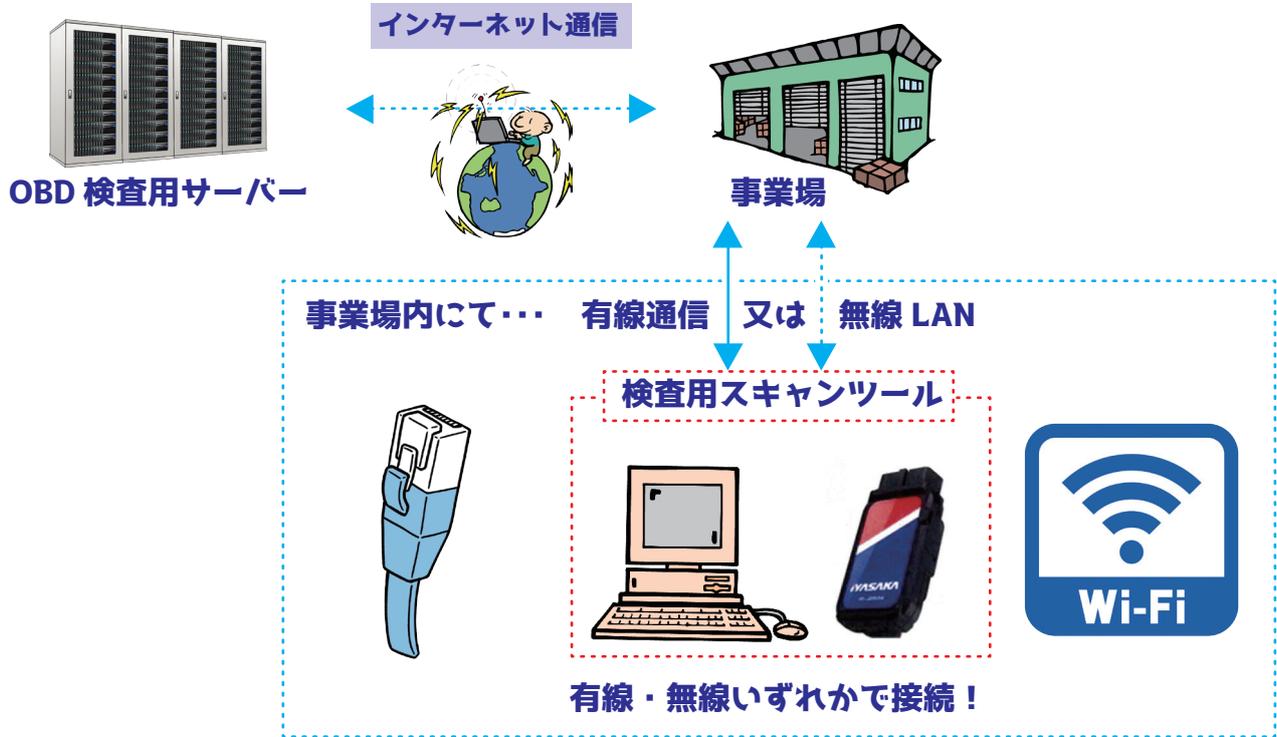
- ① ディーラーなどのグループに所属する複数の事業場及び OBD 検査用のアプリ（特定 DTC 照会アプリ）の利用者（検査員・工員）の情報を統括して管理する責任者。
 ② グループ内の事業場の追加・変更、特定 DTC 照会アプリの利用者の一括管理が可能。
 ③ 1つのグループに対して、3名まで登録することができる。



1. インターネット環境

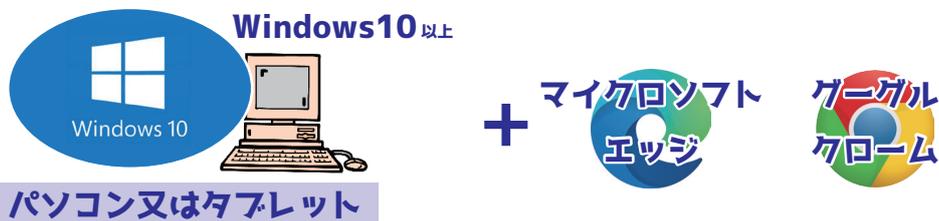
- ① 事業場 ID の申請や OBD 検査・確認は、インターネット回線を通じて機構の運用管理センターやサーバーとやり取りを行う。
 ② OBD 検査・確認は、検査用スキャンツールで読み取った車両の情報をインターネットにて OBD 検査用サーバーに送信して行う。

- ③事業場における検査用スキャンツールのインターネットへの接続方法は、『無線 LAN』もしくは『有線通信』のいずれかで行う。
- ④ただし、有線によりインターネットへ接続できない（LAN ケースルを接続できないタブレットなど）の場合は、無線 LAN の準備が必要となる。



2. 管理責任者（もしくは統括管理責任者）用のパソコン又はタブレット『Windows10 以上』*4 + インターネットブラウザ

- ①インターネットブラウザは、『マイクロソフト・エッジ』もしくは『グーグル・クローム』が指定されている。



2 検査用スキャンツールの端末へ各種インストール

《目次》

1 『Soliton KeyManager』のインストール	19
2 『クライアント証明書』のインストール	27
3 『特定 DTC 照会アプリ』のインストールと初回ログイン・パスワードの設定	34

1. OBD 検査・確認に関する照会アプリや OBD 検査結果参照システムを利用するための準備。
2. 照会アプリや OBD 検査結果参照システムを利用するためには、これを利用する端末ごとに『クライアント証明書^{*1}』を『インストール^{*2}』する必要がある。
※管理責任者（もしくは統括管理責任者）が使用する利用者管理システムをインストールした端末を検査用スキャンツールとする（P.4 パターン 1）場合には、『Soliton KeyManager』及び『クライアント証明書』のインストールは不要。
3. クライアント証明書をインストールするためには、まず外部アプリである『Soliton KeyManager^{*3}』という『デジタル証明書^{*4}』をインストールする必要がある。
※ OBD 検査結果参照システムを検査用スキャンツールと別の端末で使用する（P.5 パターン 2 下）場合、さらに別の端末に『Soliton KeyManager』及び『クライアント証明書』をインストールする必要がある。

クライアント証明書^{*1}？

- ① 機構のクライアント（顧客）であることを証明するために、利用者管理システムや OBD 検査結果参照システムを利用する管理責任者（もしくは統括管理責任者）のパソコンや、照会アプリを利用する検査員・工員の検査用スキャンツールにインストールしておく必要がある。

インストール^{*2}？

- ① パソコンなどにシステムやアプリなどを導入・設定して実際に使用できるようにすること。

Soliton KeyManager^{*3}？

- ① ソリトン・キーマネージャーとは、OBD 検査・確認を行うための 3 つのシステムやアプリを使用するために必要となるデジタル証明書のインストールを行うための外部アプリ。

デジタル証明書^{*4}？

- ① デジタル証明書とは、デジタルの世界であるインターネット上での信頼性を確保するために発行される、電子的な証明書のこと。
- ② 機構のサーバーにアクセスするために必要となるデジタル証明書は、ソリトン・キーマネージャーというアプリを利用してパソコン又はタブレットへインストールする。

1 『Soliton KeyManager』のインストール

1. 検査用スキャンツールの端末の電源を入れ、インターネットブラウザを選択し、起動させる。

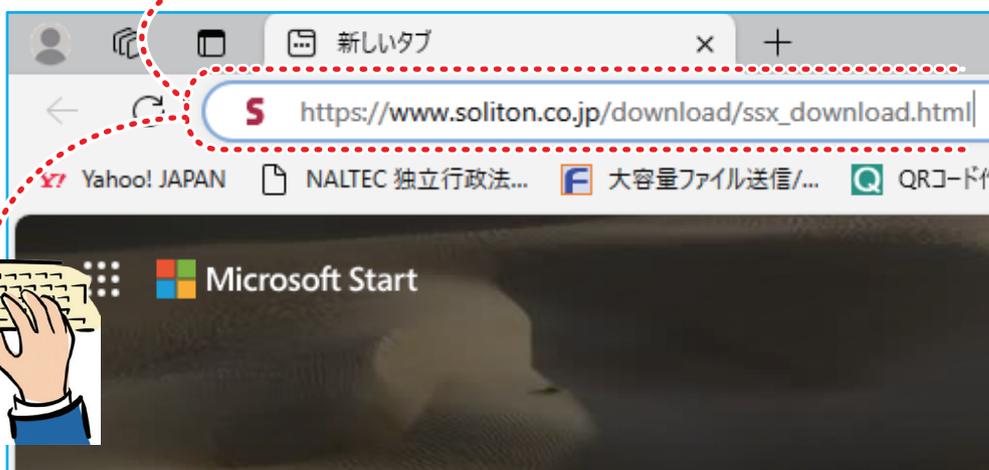


インターネットの画面を開く。

2. ブラウザ左上のアドレスバーに、URL 『https://www.soliton.co.jp/download/ssx_download.html』 と入力してダウンロード画面に移行する。

- ① Soliton KeyManager の URL は、OBD 検査ポータルサイトやクライアント証明書用招待コードのメールにも記載されている。

ブラウザのアドレスバー



『https://www.soliton.co.jp/download/ssx_download.html』

と入力してダウンロード画面に移行する。

検査員・工員用メモ

注意：特定 DTC 照会アプリ及び OBD 検査結果参照システムを使用する検査員・工員が設定するパスワードは、個人を特定する重要な情報である。他者との共有や他者への貸出しを行わない。

❶ 管理責任者（もしくは統括管理責任者）から知らされた『クライアント証明書の招待メール』に関する項目（利用者の検査用スキャンツール、もしくは OBD 検査結果参照システムを使用する端末用）

ユーザー ID (兼初期パスワード)	
招待コード (有効期限 30 日)	
ホスト名	

❷ 特定 DTC 照会アプリ（もしくは OBD 検査結果参照システム）に初回ログインした際に設定したパスワード

パスワード (新たに設定し、次回ログイン時から使用する)	
------------------------------	--

検査員・工員用

特定 DTC 照会アプリ & OBD 検査結果参照システムの操作方法マニュアル

■発行日 令和6年6月1日

■定 価 1,100 円 (税込み)
送料 300 円

■発行所 株式会社 公論出版
〒110-0005
東京都台東区上野3-1-8
電話 03-3837-5731